



2001年11月27日

フォルクスワーゲン ポロ特別仕様車「ポロ プラス」販売開始

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉)は、フォルクスワーゲンの人気小型車ポロの4ドア、4A/T、右ハンドル仕様に、フロント フォグランプ、14インチ アルミホイール、そして本革ステアリング ホイールを標準装備した特別仕様車、「ポロ プラス」を発表。同日より発売を開始します。なお、店頭での販売フェアは、12月1日(土)、2日(日)。全国のフォルクスワーゲン正規ディーラーにて開催します。

今回販売する「ポロ プラス」は、パーソナル ユースとしてのポロの魅力を一段と際立たせる人気アイテムを標準装備しています。高品質なインテリアと共に快適なハンドリングが楽しめるよう、本革ステアリング ホイールが採用され、フロント フォグランプと14インチ アルミホイール(185/55 R14スチール ラジアルタイヤ)は、ポロのエクステリアをスポーティーでファッションブルに演出しています。また全4色のボディカラーは、いずれもポロの人気色であり、内外装共に充実した「ポロ プラス」は、あらゆる面で魅力的な一台と言えます。

ポロは1975年にドイツで発表され、フォルクスワーゲンのエントリーモデルとして永年に渡り、小型車の方向性を決定付けるマーケットリーダーとして親しまれてきました。モデルチェンジ毎に行われたフォルクスワーゲンの厳しいクルマ造りは、ゴルフが打立てた金字塔と同様、新たに「ポロ クラス」というカテゴリーを作り出し、このクラスにおける絶対的なポジションを確立。高い品質基準、優れた走行性能、安全性、快適性そして経済性など、あらゆる面においてエポックメイキングなクルマとして高く評価され続けてきました。2001年5月17日現在、ポロの累計生産台数は700万台を突破。その記録は現在も更新中です。

日本におけるポロの累計登録台数は6万5千台を越え、1、フォルクスワーゲンの日本における販売構成比の約20%を占める主要なモデルの一つとなっています。今回の「ポロ プラス」の導入によってフォルクスワーゲンは、本年末の需要拡大期において、競合他社各モデルとの差別化をさらに明確にして、一層の販売増とフォルクスワーゲン ファンの獲得を目指していきたいと思えます。

1 JAIA調べ 1996.8月発表から、2001年10月末現在までの累計登録台数

全国希望小売価格	195万円 (ご参考:Polo 4Dr 4A/T 右ハンドル ¥1,950,000)
国内販売台数	3,000台
主な仕様	1.4リッター(レギュラーガソリン)75psガソリンエンジン、4ドア、4A/T、右ハンドル
ボディカラー	フラッシュレッド、リフレックス シルバーメタリック (シートカラー:オフブラック) ブラックマジック パールエフェクト、インディゴブルー パールエフェクト (シートカラー:ブルー/フランクグレー)
特別装備品	【内装】 革巻きステアリング ホイール 【外装】 6J×14 アルミホイール「キャラミ」、185/55 R14 スチール ラジアルタイヤ